

令和8年度全国科学博物館協議会 海外施設調査  
参加者募集要項

1. 募集人数 4名程度
2. 応募資格 全国科学博物館協議会正会員の正規職員で、調査研究に耐え得る語学力、体力を有する、原則として若手（45歳以下）を対象とし、（公財）カメイ社会教育振興財団が求める次のいずれかの条件を満たすこと。
  - ・学芸員資格を有し、大学卒業後10年以上博物館等において専門的な職務に従事している者
  - ・大学院修了者で調査研究等の専門職に従事している者
  - ・学芸員資格は有しないが、大学卒業後10年以上博物館等において専門的な職務に従事している者
  - ・上記に準じる者
3. 調査研究のテーマ 全国科学博物館協議会の加盟館園において共通の関心事項となり得るようなテーマ（運営、施設管理、展示、教育普及活動に関することなど）を各自で設定する。
4. 調査研究の実施方法 調査先とする施設：海外の博物館（3館程度）  
実施時期：令和8年7月～令和9年1月末（7～10日間程度）  
予算上限：45万円 ただし、採用者数や調査先等により減額の可能性あり。  
〔（公財）カメイ社会教育振興財団の助成上限：25万円〕  
〔全科協からの助成上限：20万円〕
5. 応募方法 所属長による推薦書（別紙）にレポート\*を添えて、全科協事務局へメールで送付すること。提出先メールアドレス info@jcs.jp  
\*レポートは、応募者本人によるもので、①調査研究のテーマ、②調査予定先（館名及び所在地）、③調査内容（目的や実施方法など）、④応募理由（自己の興味関心や課題など）を、A4用紙1枚以内にわかりやすくまとめることとする。なお、調査先との訪問日程調整等は各自で行うこと。
6. スケジュール○全科協事務局への提出期限：**令和8年3月27日（金）17:00【必着】**
  - 候補者選定：令和8年3月31日（火）頃までに対象者に連絡予定。
  - 全科協事務局から（公財）カメイ社会教育振興財団への申請：4月12日頃  
申請区分：「（A）博物館学芸員等の内外研修に対する助成」
  - （公財）カメイ社会教育振興財団での採択結果：6月下旬頃  
採択された場合のみ全科協からの派遣者となる。（不採用となる場合もある。）
7. その他
  - 調査研究の実施に係る費用について、助成額を超える部分は所属館又は本人の負担とする。
  - 実施後には、報告書の作成及び次年度の第1回全国科学博物館協議会総会での口頭発表を行うこと。報告書は、写真・図表含め、A4用紙7～8ページ程度（最大10ページ以内）で作成すること。
  - 同一の調査研究テーマで他の助成と重複して本助成に応募することはできない。
  - 社会情勢等により本事業をやむを得ず中止することがある。

全科協令和8年度海外施設調査  
参加者に関する推薦書

令和 年 月 日

全国科学博物館協議会理事長 殿

館 園 名

代表者名

印

令和8年度海外施設調査参加者として、下記の者を推薦します。

ふりがな 氏 名		性 別	男・女
年 齢	歳 (令和8年4月1日現在)		
所属・職名			
専門分野			
略 歴	最終学歴： 年 月 卒業・修了 勤務年数： 年		
語学力 ※可能な事項に 印を付す	<input type="checkbox"/> 調査先となる海外の科学系博物館とEメール等でコンタクトをとり、調査日程を調整することができる。 <input type="checkbox"/> 調査に際しては、通訳を介さず独力でインタビューを行うことができる。		
連絡先	TEL： — — E-mail： _____ ※決定通知や書式送付などを行いますので、応募者本人の連絡先をご記載ください。		